

科目	生物 (Biology)		
担当教員	森 寿代 非常勤講師		
対象学年等	都市工学科・2年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A2(100%)		
授業の概要と方針	iPS細胞, 遺伝子治療, 生物多様性など, 「生物学」に関連した話題が日常的に取り上げられるようになっている。本科目は, 身の回りの生命科学の諸問題に関心を持ち, 理解するための基礎的な素養を習得することを目的とする。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A2】細胞の構造と細胞小器官の機能を理解する。		細胞の構造や機能についての理解度を試験により評価する。隔週程度ごとに小テストを課し, 理解度を評価する。
2	【A2】細胞の増殖の方法と生物体の構造の多様性を理解する。		細胞の増殖の方法と生物体の構造の多様性についての理解度を試験により評価する。隔週程度ごとに小テストを課し, 理解度を評価する。
3	【A2】生殖細胞の形成過程と受精のしくみを理解する。		生殖細胞の形成過程と受精のしくみについての理解度を試験により評価する。隔週程度ごとに小テストを課し, 理解度を評価する。
4	【A2】さまざまな遺伝のしかたと遺伝子と染色体との関わりについて理解する。		さまざまな遺伝のしかたと遺伝子と染色体との関わりについての理解度を試験により評価する。隔週程度ごとに小テストを課し, 理解度を評価する。
5	【A2】動物の行動とそのしくみについて理解する。		動物の行動とそのしくみについての理解度を試験により評価する。隔週程度ごとに小テストを課し, 理解度を評価する。
6	【A2】実験の目的を理解し, 結果に対して授業内容を基に考察できる。		実験の目的を理解し, 結果に対して授業内容を基に考察できているか, レポートで評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験80% レポート10% 小テスト10% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	資料プリントを随時配布する。		
参考書	シグマベスト 理解しやすい生物I・II 改訂版: 水野丈夫・浅島誠 共編 (文英堂) 改訂版 視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録: 鈴木孝仁 監修 (数研出版)		
関連科目	特になし		
履修上の注意事項	特になし		

